

平成 31 年度研究助成金交付先一覧表

◆ (1 件 50 万円×19 件= 計 950 万円)

助成	所 属 (申請時)	研 究 者	研究テーマ
4 年目	金沢大学医薬保健研究域薬学系薬理学研究室	金田 勝幸	ストレスによる薬物依存症再燃メカニズムの解明
4 年目	慶應義塾大学薬学部	大江 知之	肝障害を有する医薬品の代謝活性化機構の解明とそれを基盤にした低毒性医薬品の創製
4 年目	静岡県立大学食品栄養科学部	増田 修一	ブドウ球菌毒素が誘導するスーパー抗原活性に対する植物由来成分および生薬による制御機構の網羅的解析
4 年目	香川大学医学部薬理学	西山 成	生活習慣病に対する新しい診断治療法の開発
4 年目	埼玉大学大学院理工学研究科	松岡 浩司	超高感度蛍光共鳴エネルギー移動による定量的バイオセンシングを可能とする新しい糖鎖高分子の創出
3 年目	名城大学薬学部	北垣 伸治	シクロファン系の面不斉を利用した新規触媒の開発
3 年目	大阪大学大学院工学研究科	鳶巣 守	生理活性分子の直接変換を指向した不活性結合の触媒的変換法の開発
3 年目	帝京大学薬学部	高橋 秀依	軸不斉を活かした医薬品の分子設計・高活性化化合物の創製
3 年目	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所	岡 正啓	細胞核輸送ネットワークと高次生命機能
3 年目	近畿大学薬学部	田邊 元三	サラシノールをシードとする高活性スルホニウム塩型食後過血糖改善薬の合成と活性評価
2 年目	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	井上 剛	電気生理技術を用いた難治性神経疾患の創薬標的分子の同定
2 年目	同志社女子大学薬学部	前川 京子	メタボローム解析による多発性骨髄腫の治療効果・有害事象発現を予測するバイオマーカーの探索研究
2 年目	京都薬科大学 病態薬科学系臨床薬理学分野	鳥羽 裕恵	慢性腎臓病増悪因子としての細胞外マトリックスの役割
2 年目	慶應義塾大学薬学部	登美 斉俊	胎盤関門透過の種差を生み出す機能分子の同定とその機能調節機構の解明
新 規	大阪市立大学大学院 医学研究科	塩田 正之	熱ショックタンパク質 70 のがん進展における機能解明と治療標的化
新 規	千葉大学大学院医学研究院 診断病理学・病理診断科	池田 純一郎	治療標的となるがん幹細胞の可塑性に関する因子の検討
新 規	東京大学大学院薬学系研究科	花岡 健二郎	生体深部の可視化を目指したバイオイメーjingグロブの創製とその応用
新 規	日本医科大学 生化学・分子生物学 (代謝・栄養学) /共同研究施設 分子解析研究室	早川 清雄	細胞内脂質調節薬剤の開発と炎症制御メカニズムの解析
新 規	京都大学大学院工学研究科	三木 康嗣	水溶性近赤外光増感分子の開発と腫瘍セラノスティクスへの展開

◆ 特別研究助成 (1 件 250 万円×4 件 = 計 1,000 万円)

助成	所 属 (申請時)	研 究 者 名	研究テーマ
2 年目 第 1 位	大阪大学大学院医学系研究科神経遺伝子学	宮崎 雄	神経変性疾患の RAN 病態に基づく新規治療標的の探索
2 年目 第 2 位	滋賀医科大学 神経難病研究センター	森 雅樹	小児脳難病の病態解析によって発見された若年脳遺伝子を用いた遺伝子治療の実現
新規 第 1 位	神戸薬科大学	上田 昌史	環骨格子モデリング戦略に基づく多環式ヘテロ環の創製
新規 第 2 位	京都大学大学院薬学研究科	小林 祐輔	アミドの分子変換を基盤とした医薬品シーズの創製

以上